



ボランティア紹介リレー

第37回

今回は『みんなの学校138』さんからの紹介で『子どもの多様な学びを考える会@いちのみや』さんをご紹介します！

代表の三好さんにお話をうかがいました。

「子どもの多様な学びを考える会@いちのみや」とは？

現代の学校現場には、集団生活で目立ってしまう子、文字を使って学ぶことが苦手な子、敏感すぎて教室で過ごすことがしんどい子…他にも様々な子どもたちがいます。実は私の子どもたちもこんなタイプで、「学校に行きたくない」と言うようになった我が子の対応に困った時期がありました。その後、学校現場で働き始めたのですが、子どもたちから「人にはそれぞれ、自分に合った学び方や学びの場がある」と気づかされたほか、大人が「ふつう」を見直さないと、学校がしんどくなってしまいう子どもたちが増え続けるのではないかと考えるようにもなりました。そこで、これまでの経験を活かし、地域の方々に「子どもの多様な学び」について知ってもらったり、一緒に考えたりする機会を作りたくて会をはじめました。

活動内容・やりがいとは？

まずは、市内の不登校サポート団体の情報を集めた「いちのみや多様な居場所まとめ」の作成です。私自身、困っていた頃に欲しかったのが「地域のサポート資源や仲間に見える場所の情報」だったからです。保護者や団体から「すごく助かる」というお声をいただくと、始めて良かったと思えます。

次に、読み書き困難に向けた「ICTサポート体験会」の開催です。「こんな方法があるなんて知らなかった」と言ってもらえたのが嬉しかったです。他には「発達凸凹学習会」として、インクルーシブ教育や不登校などについて学べる機会を設けています。



最後にひとこと！

最終的なゴールは、一宮市が、多様な人が安心して共に生きられる「共生のまち」になることです。地域には同じ思いで活動する団体がたくさんあります。イベントに足を運んでみたり、困っている人に「こんな場所あるよ」と伝えたり——その小さな行動が、共生社会をつくる大事な一歩になります。興味のある方、悩んでいる方は、どうぞ気軽に声をかけてください。みんなで支え合える一宮市を一緒につくっていきましょう。

「子どもの多様な学びを考える会@いちのみや」さんInstagramリンク⇒
<https://www.instagram.com/tayounamanabi.138/>
※最新情報はリンクからInstagramをご確認ください。



「いちのみや多様な居場所まとめ」Instagramリンク⇒
<https://www.instagram.com/tayounaibasyo.138/>



おすすめ福祉の本

つるかめ つるかめ



図書館で借りることが出来ます。

中脇 初枝 文 あずみ虫 絵 出版社 あすなろ書房

ああ、どうしよう。

自分たちの力ではどうにもならない、説明できないような嫌なことが起きたとき。大人だって昔の人だって、不安だし怖いと思ってきました。だからこそ人々が唱えてきたおまじないが伝わっています。おまじないの力は、現状を変えてくれるわけではないけれど、私たちに寄り添い、勇気づけてくれて、心の助けになることがあります。唱えようとするときには『いま自分は怖いんだな』と気付くことができます。自分の心と向き合い、自分をいたわってあげてくださいね。巻末にはおまじないの意味や由来も収められています。